

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
1 施工体制	I 施工体制一般	1. ◎ □ 作業分担の範囲が、施工体制台帳及び施工体系図で確認できた。 2. ○ □ 工事カルテの登録手続きは、事前に監督職員の確認を受け契約締結後 10 日以内に登録機関に登録された。 3. ○ □ 建退共制度の主旨を作業員等に理解させていた。 4. ○ □ 建退共制度の証紙購入が適正に行われ、その配布が共済証紙受払簿等により管理されていた。 5. ◎ □ 工事現場の施工体制が、施工体制台帳又は施工体制表と整合していた。 6. ◎ □ 施工体系図が工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられていた。 7. ○ □ 社内検査体制が確立され、有効に機能していた。 8. ◎ □ 工事の規模、状況に応じた人員及び機械配置が行われ、施工に支障をきたさなかった。 9. ◎ □ 当該現場の作業員、下請負人の施工能力は適切であった。 10. ◎ □ ①建設業の許可標識及び②労災保険関係成立票の標識が公衆の見やすい場所に掲示されていた。 11. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 12. ○ □ その他 (理由: )				13. □ 施工体制が不備であり、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・e
		※ 上記項目中 評価対象項目の 80% 以上に該当する場合 ..... b 評価対象項目の 60% 以上 80% 未満に該当する場合 ..... c 評価対象項目の 60% 未満に該当する場合 ..... d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目 (対象外項目) を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が 2 項目以下の場合は、C 評価とする。				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e	
1 施工体制	II 配置技術者等	1. ◎ □ 現場代理人は、工事現場に常駐して工事全体の把握ができていた。 2. ◎ □ 現場代理人が監督職員に行う連絡及び報告等については、書面で行い、その内容と時期が適切であった。 3. ◎ □ 現場代理人は、工事現場の運営及び取締りを行う上で、必要な知識と経験を有する者であった。 4. ◎ □ 現場代理人及び監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者（以下「現場代理人等」という。）は、書類整理及び資料の整理を適切に行っていた。 5. ○ □ 現場代理人等は、創意工夫又は提案をもって工事の進捗に努めていた。 6. ◎ □ 現場代理人等は、契約書、設計図書、関係基準書等をよく理解し、現場に反映して工事を施工していた。 7. ○ □ 現場代理人等は、設計図書の照査を十分に行い、現場と設計図書に相違があった場合は、適切に対応した。 8. ○ □ 現場代理人等は、作業環境・気象・地質等の困難な現場条件の克服に努めていた。 9. ◎ □ 現場代理人等は、下請業者、現場作業員の施工体制、施工状況を把握し、適切に指導していた。 10. ◎ □ 監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者として技術的判断に優れ良好な施工に努めていた。 11. ○ □ 作業主任者及び専門技術者を選任し、適正に配置していた。 12. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 13. ○ □ その他（理由：			14. □ 現場代理人等の配置が不備で、監督職員から文書による改善指示を行った。  15. □ 専門技術者又は下請の主任技術者の配置が不備で、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記項目のうち 1 項目該当・・・・・・・・・・ d 2 項目該当・・・・・・・・・・ e		
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・・・・・・・・ a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・・・・・・・・ b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・・・・・・・・ c 評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・・・・・・・・ d					
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。					

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	1. ◎ □ 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けてから施工した。 2. ◎ □ 施工計画書に記載した施工方法と現場施工方法が一致していた。 3. ◎ □ 施工計画書は、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであった。 4. ◎ □ 施工計画書の内容には、記載洩れがなかった。 5. ○ □ 施工計画書の記載内容に変更の必要が生じた場合は、監督職員への報告及び変更施工計画書の提出等必要な措置を速やかに講じた。 6. ○ □ 日常の出来形管理が的確に行われていた。 7. ◎ □ 日常の品質管理が的確に行われていた。 8. ◎ □ 現場内の整理整頓が、日常的に行われていた。 9. ◎ □ 使用材料の品質保証書等が適切に整理されていた。 10. ◎ □ 工事記録写真が適切に整理されていた。 11. ○ □ 現場でのイメージアップ（現場内及び周辺的美装化等）に積極的に取り組んでいた。 12. ◎ □ 立会いの手続きが事前になされていた。 13. ◎ □ 工事記録の整備が、適時・的確になされていた。 14. ○ □ 建設副産物等のリサイクルへの取り組みが適切になされていた。 15. ○ □ 設計図書で指定された使用機械や車両（低騒音機械、排出ガス対策機械等）を使用していた。 16. ◎ □ 施工計画書が提出期限内（該当工種の工事着手前）に提出された。 17. ○ □ 「一工程施工の確認及び報告」が、適切な時期に提出された。 18. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 19. ○ □ その他（理由：			20. □ 設計図書と適合しない個所があり、文書による改造請求を行った。 21. □ 施工計画書が、工事着手前に提出されなかった。 22. □ 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 23. □ 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書による改善指示を行った。	
		※ 上記項目中 評価対象項目の80%以上に該当する場合 . . . . . b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合 . . . . . c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 . . . . . d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				
		1 項目該当 . . . . . d 2 項目以上該当 . . . . . e				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	1. ◎ □ フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っていた。 2. ○ □ 時間制限や片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず、工程の短縮を行った。 3. ◎ □ 定められた作業時間以外の作業が少なく、工期内に完成させた。 4. ○ □ 現場の条件変更への対応が積極的で処理が早かった。 5. ○ □ 地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。 6. ◎ □ 休日の確保を行っていた。週休2日工事の場合、4週8休を達成した。 7. ○ □ 計画工程と実施工程に整合性がみられた。 8. ◎ □ 計画工程表の工程は、適切な内容だった。 9. ◎ □ 日々工程を把握・管理し、週間工程表を作成するなど計画工程内に納める努力をしていた。 10. ○ □ 計画工程から外れた場合は、その理由を発注者に報告した。 11. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 12. ○ □ その他 (理由: )			13. □ 受注者の責により、工期内に工事を完成させなかった。 (ただし、改善指示による場合を除く。) 上記該当があれば・・・・・・ e 14. □ 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・・・・ d	
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合 ..... a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合 ..... b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合 ..... c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 ..... d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目(対象外項目)を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e	
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	1. ○ □ 災害防止（工事安全）協議会等を設置して1ヶ月に1回以上活動し、その記録が整備されていた。 2. ○ □ 社内パトロールを1か月に1回以上実施し、その記録が整備されていた。 3. ○ □ 現場作業員等の安全教育・安全訓練等を1か月に4時間以上の確に実施し、その記録が整備されていた。 4. ◎ □ 工事現場の安全巡視、作業前の打合せ（TBM）、危険予知活動（KY）等を実施し、その記録が整備されていた。 5. ○ □ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、その記録が整備されていた。 6. ○ □ 契約書第27条第1項及び同条第2項の規定に基づく臨機の措置を的確に行った。 7. ○ □ 過積載防止に取り組んでいる記録が整備されていた。 8. ◎ □ 使用機械・車両等の点検整備等を日常的に行い、その記録が整備されていた。 9. ○ □ 重機操作に際して、交通誘導員の配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされていた。 10. ○ □ 土留・仮締切等の設置後に行う点検及び管理が、チェックリスト等を用いて実施されていた。 11. ○ □ 足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理が、チェックリスト等を用いて実施されていた。 12. ◎ □ 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確に行われていた。 13. ◎ □ 基本的な保安用具（保護帽等）の着用の指導が行われていた。 14. ◎ □ 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 15. ○ □ その他（理由：				16. □ 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。  上記該当があれば・・・・・・ e  17. □ 安全管理に関する現場管理又は防災体制が不適切であり、監督職員から文書による指示を行った。 上記該当があれば・・・・・・ d	
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合 ..... a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合 ..... b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合 ..... c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 ..... d					
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。					

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	IV 対外関係	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の機関と調整を行ったため、トラブルの発生がなかった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事着手前に、地元住民と適切な調整を行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情に対しては、的確に対応し、苦情によるトラブルが少なかった。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事施工中は、積極的な地元対策を実施し、対外関係は良好だった。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与した。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストで指摘事項がなかった又は次回の点検までに指摘事項に対する改善が速やかに実施された。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)			8. <input type="checkbox"/> 対外関係との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。  上記該当があれば・・・・・・ e  9. <input type="checkbox"/> 受注者の対応による苦情が多い。又は対応が悪く、トラブルがあった。  10. <input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書による改善指示を行った。  上記該当があれば・・・・・・ d	
		※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合 ..... a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合 ..... b 評価対照項目の60%以上80%未満に該当する場合 ..... c 評価対象項目の60%未満に該当する場合 ..... d				
		1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目(対象外項目)を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法] 記入表の評価対象項目 (○) と該当項目 (□) にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ I. 出来形	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 指示した施工段階では、社内計測値を成果表等に記入し、「一工程施工の確認及び報告」に添付し確認を受けた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 出来形成果表が適切にまとめられ、測定箇所の断面図・寸法等を記載するなど工夫が認められた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 製品の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 出来形の写真は、設計図書に定める管理項目を満足していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他（理由：		9. <input type="checkbox"/>	10. <input type="checkbox"/> 監督職員から文書による改善指示があった場合  上記項目に該当があれば・・・d	10. <input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づく破壊検査を行った。  上記項目に該当があれば・・・e
	※ 上記項目中 評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・ a 評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・ b 評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・ c 評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・ d				
	1) 「評価対象項目」とは、工事の規模・内容等により評価の対象とならない項目（対象外項目）を削除した後の項目をいい、「該当項目」とは、評価対象項目のうち、当該工事で該当する項目をいう。 2) 当該工事の「評価対象項目」として該当する場合は、○にレマークを記入する。 3) 当該工事の「評価対象項目」に対して、概ね該当すると判定した場合は、「該当項目(□)」にレマークを記入する。 4) 「概ね該当する」とは、評価対象項目の遂行が優れていた又は特に問題がなかった場合をいう。 5) 評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。				

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 1-1 土工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 床掘箇所の湧水及び滞水の処理が適切であった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)材料は、工事着手前に材料確認を受けた後、使用していた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、施工箇所の残材、木くず、廃物等を撤去した後、行っていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、設計図書に規定する品質管理試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 埋戻(盛土)は、締固め後の一層の仕上り厚を30cm以下とし、平坦に施工していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
II. 品質 【建築】	<input type="checkbox"/> 1-2 土留工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で品質・規格等を規定した場合は、規定以上の仮設材料品(土留、支保材等)を使用していた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で設置数量等を規定した場合は、規定以上の設置を行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土留材は、ぶれ、よじれ、倒れ等がなく、適切に設置されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土留は、土圧を均等に受けるように施工していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-3 既製杭(既製コンクリート杭・鋼管杭・H鋼杭)打込み杭工法・中掘り杭工法 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法が整備され、かつ施工記録が確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、設計図書に定める作業員の技量確認を行っていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 既製杭の打込み又は建て込み、杭頭処理、杭の切断、継手、溶接は、設計図書で規定する方法で行っていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 杭の品質については、品質管理基準で規定する試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 杭には、損傷等のないことが確認できた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-4 場所打杭(オールケーシング工法・リバーシ工法・アースドリル工法) 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 杭長決定の管理方法が整備され、かつ、施工記録が確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工に使用する掘削機械は、その水平度や安全度の確保のため据付地盤が整備され、設計図書に規定する杭の位置に据付けられていた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> コンクリート打設前に孔底沈殿物(スライム)を除去していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 鉄筋かごの建て込みは、湾曲、脱落座屈の防止措置がとられ、かぶりを確保するためスペーサーが適正に取付けられていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 杭のコンクリートの打込みは、設計図書に規定した方法で行っていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				



工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【建築】	<input type="checkbox"/> 1-5 コンクリート工 1. ◎ <input type="checkbox"/> 施工前に設計図書(示方書を含む。以下同じ)の規定に基づくコンクリートの配合試験や試験練が行われ、試験結果により適切なコンクリートの品質規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量規制・アル骨反応抑制対策等)であることが確認できた。 2. ◎ <input type="checkbox"/> コンクリートの運搬、打込み(方法・時間)、締固め方法、養生等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。(暑中及び寒中コンクリートを含む。) 3. ○ <input type="checkbox"/> コンクリートに打継目(施工継目)を設ける場合は、設計図書に規定された方法で行っていた。 4. ○ <input type="checkbox"/> コンクリートに伸縮継目を設ける場合は、設計図書に規定された方法で行っていた。 5. ◎ <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な数の供試体を採取し、スランプ・空気量試験等を適正に行っていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> 設計図書に規定するコンクリートの品質管理試験が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足している品質であることが確認できた。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外しは、設計図書で規定するコンクリート強度発現後に行うように管理されていた。 8. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
<input type="checkbox"/> 1-6 鉄筋工 1. ○ <input type="checkbox"/> 現場での鉄筋の保管については、直接地上に置かず、少なくとも地上から10cm以上上げてシート等で覆って錆等から防護していた。 2. ○ <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシート等で確認できた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 鉄筋は、引張強度・曲げ強度の試験値又は品質証明資料等により、品質規格を満足していることが確認できた。 4. ◎ <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工は、設計図書で規定したとおり行っていた。 5. ◎ <input type="checkbox"/> 鉄筋組立は、鉄筋表面の浮きさび、泥、油、ペンキ等を除去した後に行っていた。 6. ◎ <input type="checkbox"/> スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していた。 7. ◎ <input type="checkbox"/> 鉄筋の重ね継手の緊結方法、長さ、位置等は、設計図書で規定したとおり行っていた。 8. ◎ <input type="checkbox"/> コンクリート打込みまでの間、鉄筋が適切に保管管理(配筋・浮き錆・泥等の除去)されていた。 9. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由: )					
<input type="checkbox"/> 1-7 ガス圧接工 1. ◎ <input type="checkbox"/> ガス圧接作業にあたり、設計図書に定める作業員の技量確認を行っていた。 2. ◎ <input type="checkbox"/> ガス圧接作業が設計図書どおり適切に行われていた。 3. ◎ <input type="checkbox"/> 品質管理基準で規定する施工後検査が行われ、各試験項目の規格値及び試験基準を満足している品質であることが確認できた。 4. ○ <input type="checkbox"/> その他(理由: )					

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【建築】	<input type="checkbox"/> 1-8 鉄骨工	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の手順(工作図の作成、加工組立等)や各種の検査(材料検査・原寸検査・超音波探傷試験・塗装・製品検査・搬出等)の時期が、設計図書の規定や施工計画書どおり適切であった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 製品の材質・主要寸法(長さ、幅、厚さ等)・ボルト穴・スリーブ・鉄筋貫通穴の位置及び寸法が、設計図書の規定どおり施工されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料の製品形状・寸法・構造耐力・耐久性・耐火性・溶接接合等が、設計図書で規定された品質・規格を満足していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 建て方位置・建て入れ・ボルト接合部の状態・溶接接合部の状態・耐火被覆の性能・取り合い部被覆状態等が、設計図書で規定された品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 高力・普通ボルト接合部摩擦面でのまくれ・ひずみ・へこみ等の仕様が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっきの付着量・溶接部の割れ及び仕上り状態の仕様が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、試験成績書・規格証明書・品質証明書等が提出され、設計図書で規定した品質・規格を満足していた。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:			)
	<input type="checkbox"/> 1-9 防水工	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地調整において、出隅・入隅の形状、表面の硬化状態、亀裂状態を把握して下地処理を行っていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 各層の構成、突起物、器具等の末端処理が適切に施工されていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材料は、損傷、破断等がなく施工されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、規格証明書、品質証明書が提出され、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:			)
	<input type="checkbox"/> 1-10 石工	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)は、設計図書に基づく品質試験(配合・強度・性能等)が行われ、適切な規格材料であった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地処理材料(製品)の接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材料(製品)の接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:			)

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 1-11 タイル工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地処理材料(製品)の接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地調整において出隅・入隅の形状、亀裂状態を把握し下地処理が行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材料は、損傷、破断等なく施工されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上り面の形状・寸法・接着性能等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、規格証明書、品質証明書、試験成績書が提出され、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
II. 品質 【建築】	<input type="checkbox"/> 1-12 木工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)は、設計図書に基づく品質試験(強度・性能等)が行われ、適切な規格材料だった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の防腐・防虫・防蟻処理及び金物の防錆処理等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上がり状態等の精度及び平坦性が、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-13 屋根工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の形状・寸法・仕上がり状態・防水性能・耐風圧性能等が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> メーカー仕様により、棟・軒先・けらば・壁との取り合いが満足に納まっていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材は、出隅・入隅の納まり等満足に施工されていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、検査記録証明(試験成績・規格証明・品質証明)により、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-14 金属工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上がり状態等の精度及び平坦性が、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、検査記録証明(試験成績・規格証明・品質証明)が提出され、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II.品質 【建築】	<input type="checkbox"/> 1-15 左官工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料の練り混ぜ場所・練り混ぜ方法・調合方法等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地処理材料(製品)の接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料の仕上がり厚さ・仕上がり状態・接着状態・床の平坦性等が、設計図書の規定どおり適切であった。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の規定どおり、施工後に直射日光や風等による急激な乾燥を避けて湿潤養生等による適切な養生が行われていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、材料検査(規格証明・品質証明)により、設計図書で規定した品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:				
	<input type="checkbox"/> 1-16-1 木製建具工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 表面材、裏補強材、付属金物(戸車・レール・丁番・取手・引手・戸当たり・錠)等が、設計図書の規定どおりに施工されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材において、出隅・入隅の納まり及び節等が、満足に施工されていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-16-2 鋼製建具工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 表面材、裏補強材、付属金物(戸車・レール・丁番・取手・引手・戸当たり・錠)等が、設計図書の規定どおりに施工されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 下地材料(金物)は、メーカー仕様により防錆処理等が適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 仕上げ材において、出隅・入隅の納まり及び節等が、満足に施工されていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、検査記録証明(社内検査成績・性能検査成績・耐風圧試験)により、設計図書で規定した品質・規格を満足していた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 1-17 カーテンウォール工 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料(製品)の材質・寸法・耐荷重性能・耐震性能等が、設計図書の規定どおり適切に施工されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 材料は、検査記録証明(社内検査成績・性能検査成績・耐風圧試験)により、設計図書で規定した品質・規格を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	□ 1-18 塗装工				
II. 品質 【建築】	1.	○ □	材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。		
	2.	○ □	材料(製品)の材質・塗膜の耐久性能・耐火性能等が、設計図書の規定どおりに施工されていた。		
	3.	○ □	メーカー仕様による下地処理・塗り回数・塗布量が、設計図書の規定どおり適切に施工されていた。		
	4.	○ □	材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	5.	○ □	仕上がり状態等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。		
	6.	○ □	材料は、材料検査(規格証明・品質証明)により、設計図書に規定した品質・規格を満足していた。		
	7.	○ □	その他(理由: )		
	□ 1-19 内装工				
	1.	○ □	材料見本品が施工前に提出され、色調及び柄合わせ納まり等十分検討されていた。		
	2.	○ □	材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	3.	○ □	材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	4.	○ □	下地調整において出隅・入隅の形状、亀裂状態を把握し下地処理が行われていた。		
	5.	○ □	下地処理材料(製品)の接着固定・塗布量等の精度及び平坦性が、設計図書で規定する品質・規格を満足していた。		
	6.	○ □	仕上がり状態等の精度及び平坦性が、設計図書に規定する品質・規格を満足していた。		
	7.	○ □	材料は、検査記録証明(試験成績書・規格証明書・品質証明書)により、設計図書に規定した品質・規格を満足していた。		
	8.	○ □	その他(理由: )		
	□ 1-20 ユニット工				
	1.	○ □	構成材及び表面仕上げ材の材質・寸法・耐荷重性能・耐震性能等が、設計図書どおり施工されていた。		
	2.	○ □	材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	3.	○ □	パネル表面材、裏補強材、付属金物等が、設計図書の規定どおりに施工されていた。		
	4.	○ □	材料は、検査記録証明(試験成績書・規格証明書・品質証明書)により、設計図書に規定した品質・規格を満足していた。		
	5.	○ □	その他(理由: )		
	□ 1-21 コンクリートブロック工・ALCパネル工・押出成形セメント板工				
	1.	○ □	材料(製品)の加工及び組立が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	2.	○ □	材料(製品)の運搬・保管等が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。		
	3.	○ □	材料(製品)は、仕上り状態・目地・取合部の充填状態等が適切に施工されていた。		
	4.	○ □	材料(製品)には、欠け・割れ・ひび等がなく、適切に施工されていた。		
	5.	○ □	材料は、検査記録証明(試験成績書・規格証明書・品質証明書)により、設計図書に規定した品質・規格を満足していた。		
	6.	○ □	その他(理由: )		

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ  II. 品質  【建築】	<input type="checkbox"/> 1-22 解体工	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 解体の方法は、設計図書の規定は施工計画書どおり適切であった。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 振動発生については、運転操作や工法等オペレータと十分打合せを行い、最小限に押さえるよう努めた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 解体作業時は、十分な散水により可能な限り飛散防止に努めた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 発生材搬出については、運転経路を把握し、運搬車はシート等で覆い飛散防止に努めた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適正だった。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	<input type="checkbox"/> 1-23 建築工事その他の工種 ( )	1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: ) 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: ) 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: ) 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由: )			

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【電気設備】	<input type="checkbox"/> 2-1 電力設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 電線の接続は、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 電線と電線又はガス管等との離隔が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配管の養生及び管等の敷設・接続が設計図書の規定どおり適切に行われていた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 接地が設計図書の規定どおり適切であった。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 10. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 11. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 2-2 受変電設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配電盤等の据付けは、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配線が設計図書の規定どおり適切であった。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配線と配線及び配線と機器との離隔距離が設計図書どおり適切であった。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 接地が設計図書の規定どおり適切であった。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 10. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 11. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 2-3 静止形電源設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 装置等の据付けは、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【電気設備】	<input type="checkbox"/> 2-4 発電設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 発動機及び原動機等の機器の据付けは、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書の規定どおり適切であった。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 2-5 通信・情報設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 電線の接続は、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 電線と電線等との離隔が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配管の養生及び管等の敷設・接続が設計図書の規定どおり適切に行われていた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 接地が設計図書の規定どおり適切であった。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 10. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 11. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 2-6 中央監視制御設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が整備されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 装置等の据付けは、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 配管の養生及び管等の敷設・接続が設計図書の規定どおり適切に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 接地が設計図書の規定どおり適切であった。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工の立会い及び試験が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 10. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				



工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【電気設備】	□ 2-7 電気設備その他の工種 ( ) 1. ○ □ その他 (理由 : ) 2. ○ □ その他 (理由 : ) 3. ○ □ その他 (理由 : ) 4. ○ □ その他 (理由 : )				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【機械設備】	3-1 共通工事					
	□ 3-1-1 配管工事					
	1.	○ □	配管材料・配管付属品等の機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	○ □	現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。			
	3.	○ □	機材は、確認を受けてから使用していた。			
	4.	○ □	配管は、設計図書の規定どおり適切に行われていた。			
	5.	○ □	管の接合は、設計図書の規定どおり適切に行われていた。			
	6.	○ □	管の勾配、吊り及び支持が設計図書の規定どおり適切に行われていた。			
	7.	○ □	配管の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	8.	○ □	その他(理由:			)
	□ 3-1-2 保温工事					
	1.	○ □	保温材・外装材・補助材等は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	○ □	施工は、設計図書どおり適切に行われていた。			
	3.	○ □	その他(理由:			)
	□ 3-1-3 塗装及び防錆工事					
	1.	○ □	塗料種別は、設計図書に規定した品質・規格に適合していた。			
	2.	○ □	素地拵えは、設計図書どおり適切に行われていた。			
	3.	○ □	塗装は、設計図書に規定した塗り回数以上施工されていた。			
	4.	○ □	防錆前処理が、設計図書どおり適切に行われていた。			
	5.	○ □	防錆処理の被覆厚さ・塗り回数とも、設計図書に規定した値以上であった。			
	6.	○ □	防錆処理は、設計図書に規定する方法で適切に行われていた。			
	7.	○ □	その他(理由:			)
	□ 3-2 空気調和設備工事					
	1.	○ □	空気調和設備工事に使用する各機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	○ □	各機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	3.	○ □	現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。			
	4.	○ □	機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。			
	5.	○ □	機材の据付け及び取付けが、設計図書の規定どおり適切に行われていた。			
	6.	○ □	ダクトの製作及び取付けが、設計図書の規定どおり適切に行われていた。			
	7.	○ □	その他(理由:			)

工事成績採点の考査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【機械設備】	<input type="checkbox"/> 3-3 自動制御設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 自動制御設備工事に使用する各機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 低圧配線が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 空気配管が、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機器類の取付けが、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 8. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 試験調整が、適切に行われていた。 9. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 3-4 給排水衛生設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 給排水衛生設備工事に使用する各機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 各機材の水圧試験及び気密試験等が、設計図書に規定したとおり適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機器類の取付けが、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				
	<input type="checkbox"/> 3-5 ガス設備工事 1. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ガス設備工事に使用する各機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。 2. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。 3. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。 4. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。 5. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 器具類の取付けが、設計図書の規定どおり適切に行われていた。 6. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 気密試験及び点火試験が、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。 7. <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他(理由: )				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II. 品質 【機械設備】	<input type="checkbox"/> 3-6 さく井設備工事					
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり事前調査が適切に行われていた。			
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり適切に施工されていた。			
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:			)
<hr/>						
<input type="checkbox"/> 3-7 し尿浄化槽設備工事						
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。			
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。			
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり適切に施工されていた。			
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	施工後の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:			)
<hr/>						
<input type="checkbox"/> 3-8 昇降機設備工事						
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が、整備されていた。			
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	現場に搬入された機材は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。			
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機材は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。			
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。			
	6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり適切に施工されていた。			
	7.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	施工後の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	8.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:			)
<hr/>						
<input type="checkbox"/> 3-9 機械設備(プラント)工事						
	1.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	材料は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。			
	2.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機器は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、検査成績書等により確認できた。			
	3.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機器の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が、整備されていた。			
	4.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	社内独自の品質管理体制がとられ、社内検査記録が整備されていた。			
	5.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	現場に搬入された機器・材料は、性能の維持に支障がないように適切に保管されていた。			
	6.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	機器・材料は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。			
	7.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	据付は、各工程ごとに確認を受けてから施工していた。			
	8.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり適切に施工されていた。			
	9.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	施工後の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。			
	10.	<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	その他(理由:			)

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

審査項目	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 3-10 機械式駐車設備工事				
II. 品質 【機械設備】	1.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	機械は、設計図書に規定した品質・規格に適合していることが、品質証明書等により確認できた。	
	2.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	機械の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験成績書が、整備されていた。	
	3.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	現場に搬入された機械は、工事に使用するまで変質等がないように適切に保管されていた。	
	4.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	機械は、種別ごとに確認を受けてから使用していた。	
	5.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	社内独自の品質管理体制がとられ、品質管理記録が整備されていた。	
	6.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書の規定どおり適切に施工されていた。	
	7.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	施工後の試験は、設計図書に規定する方法で適切に行われ、試験値が基準値を満足していた。	
	8.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由: )	
	<input type="checkbox"/> 3-11 機械設備その他の工種 ( )				
	1.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由: )	
	2.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由: )	
	3.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由: )	
	4.	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由: )	
				)	
				)	
				)	

工事成績採点の考查項目

(監督員)

[記入方法]記入表の評価対象項目(○)と該当項目(□)にレマークを記入する。◎は、必須評価対象項目とする。

考查項目	a	b	c	d	e																																																
3 出来形及び出来ばえ II. 品質	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①</span> <input type="checkbox"/> 監督職員から文書による改善指示があった場合                       上記項目に該当・・・d                 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">②</span> <input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づく破壊検査を行った。                       上記項目に該当・・・e                 </div>																																																
<p>建築・電気設備・機械設備の【II. 品質】の評定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">評価対象項目合計</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td style="width: 25%; border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個未満</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 55%; border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個以上50個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個以上30個未満</td> </tr> </table> </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(3)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">50個以上</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>30個以上</td> </tr> </table> </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>※ 評価対象項目が2項目以下の場合、C評価とする。</p>						評価対象項目合計	(1)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個未満</td> </tr> </table>	建築工事	30個未満	電気・機械設備工事	20個未満	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d		(2)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個以上50個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個以上30個未満</td> </tr> </table>	建築工事	30個以上50個未満	電気・機械設備工事	20個以上30個未満	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d		(3)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">50個以上</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>30個以上</td> </tr> </table>	建築工事	50個以上	電気・機械設備工事	30個以上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d
評価対象項目合計	(1)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個未満</td> </tr> </table>	建築工事	30個未満	電気・機械設備工事	20個未満	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																						
建築工事	30個未満																																																				
電気・機械設備工事	20個未満																																																				
評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a																																																				
評価対象項目の80%以上90%未満に該当する場合・・・	b																																																				
評価対象項目の60%以上80%未満に該当する場合・・・	c																																																				
評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																																				
	(2)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">30個以上50個未満</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>20個以上30個未満</td> </tr> </table>	建築工事	30個以上50個未満	電気・機械設備工事	20個以上30個未満	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																						
建築工事	30個以上50個未満																																																				
電気・機械設備工事	20個以上30個未満																																																				
評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a																																																				
評価対象項目の75%以上90%未満に該当する場合・・・	b																																																				
評価対象項目の60%以上75%未満に該当する場合・・・	c																																																				
評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																																				
	(3)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">建築工事</td> <td style="width: 50%;">50個以上</td> </tr> <tr> <td>電気・機械設備工事</td> <td>30個以上</td> </tr> </table>	建築工事	50個以上	電気・機械設備工事	30個以上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・</td> <td style="width: 50%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a	評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・	b	評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・	c	評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																						
建築工事	50個以上																																																				
電気・機械設備工事	30個以上																																																				
評価対象項目の90%以上に該当する場合・・・	a																																																				
評価対象項目の70%以上90%未満に該当する場合・・・	b																																																				
評価対象項目の60%以上70%未満に該当する場合・・・	c																																																				
評価対象項目の60%未満に該当する場合・・・	d																																																				

工事成績採点の審査項目

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを、備考欄に事例の①等の数値を記入する。

審査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 技術力	I 技術力  キーワード評価	<b>■ 施工規模への対応</b> <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、施工面積等の規模 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状の複雑さ <input type="checkbox"/> 3. その他（理由： )	① 延べ面積10,000㎡以上の建物 ② 地上9階以上の建物 ③ 地下2階以上の建物 ④ 大空間のホール等を有する建物 ⑤ 研究所等の特殊設備・機能を有する建物
		<b>■ 構造物固有の難しさへの対応</b> <input type="checkbox"/> 4. 対象構造物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由： )	① 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において、I類及びA類に属する工事 ② 電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において、甲類に属する工事 ③ 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において、甲類に属する工事 ④ 耐震及び免震構造の工事 ⑤ 敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切廻しを行った工事 ⑥ 仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事 ⑦ 休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事
		<b>■ 技術固有の難しさへの対応</b> <input type="checkbox"/> 7. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 8. 新工法（機器類を含む。）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由： )	① 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ② パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で、特許工法等の技術的な検討が必要な工事 ③ 特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ④ 特殊な設備システムを採用した工事 ⑤ VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合
		<b>■ 厳しい自然条件・地盤条件への対応</b> <input type="checkbox"/> 10. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 12. 工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 14. その他（理由： )	① 地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備のほか、大規模な山留め工法が必要な工事 ② 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ③ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ④ その他自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを、備考欄に事例の①等の数値を記入する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4 技術力 (続き)	I 技術力  キーワード評価	<p>■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペースの制約</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 22. その他（理由：</p>	<p>① 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事</p> <p>② 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事</p> <p>③ 工事に先立ち、又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき工法変更を行った工事</p> <p>④ 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事</p> <p>⑤ 大気圧を越える気圧下の作業室での工事</p> <p>⑥ 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上又は10m以下の工事</p> <p>⑦ 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p>⑧ 大規模なテレビ電波障害対策を施工した工事</p> <p>⑨ その他周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
		<p>■ 施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 災害等での臨機の措置</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 施工状況(条件)変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 25. その他（理由：</p>	<p>① 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の受注者が複数ある工事</p> <p>② 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</p>
		<p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> 26. その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評定する必要がある事項 (理由： )</p>	<p>① その他施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する技術</p>
	<p>記述評価</p> <p>【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p>	<p>評 点： 点</p> <p>※ ・ 技術力は、加点評価とする。</p> <p>・ 加点は+10点～0点の範囲とする。</p> <p>・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。</p> <p>・ 1項目2点を目安とする。</p> <p>・ 技術力は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。</p>	<p>【技術力のキーワードの詳細評価】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

※ 1. 技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて特異な技術力を要する必要がある場合又は他の模範となる場合に評価するものとする。

※ 2. 詳細評価の記述にあたっては、主任監督員及び総括監督員との合議をもって記載する。なお、各考査項目はキーワードで大分類して評定し、技術力の詳細を記述する。

※ 3. 技術力は[実用新案・特許クラス]から[現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫]まで様々なレベルがあり、本項目では、「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。





工事成績採点の審査項目別運用表

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細 別	1. 創意工夫キーワード一覧表 (創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品 質	安全性	作業環境	その他 (項目記載)	
	キーワード評価 (つづき)	■ 施工管理関係						
		<input type="checkbox"/> 32. 出来形管理表に対する工夫		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/> 33. 施工計画書及び写真記録等に関する工夫		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/> 34. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/> 35. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用		<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/> 36. その他 (理由: _____ )		<input type="checkbox"/>				
		記述評価  【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	■ その他					
			<input type="checkbox"/> 37. その他 (理由: _____ )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ( _____ )
			<input type="checkbox"/> 38. その他 (理由: _____ )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ( _____ )
			<input type="checkbox"/> 39. その他 (理由: _____ )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ( _____ )
		評 点 : _____ 点	【創意工夫の詳細評価】					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。</li> <li>・ 加点は+5点～0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。</li> <li>・ 1項目1点を目安とする。</li> <li>・ 創意工夫は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。</li> </ul>						

※ 1. 創意工夫においては、[4. 技術力]の審査項目において評価するほどでないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。

※ 2. [2. 施工状況][3. 出来形及び出来映え]においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため、本審査項目でも再評価する。

※ 3. 創意工夫は、「実用新案・特許クラス」から[現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫]まで様々なレベルがあり、本項目では、「4. 技術力」で評価しなかった軽微なものを評価する。

※ 4. キーワードの評価 (選定) 及び詳細評価は、主任監督員及び総括監督員との合議をもって記述する。

工事成績採点の審査項目別運用表

(監督員)

[記入方法]記入表の該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細 別	1. 市産品キーワード一覧表					
5 創意工夫 【軽微なもの】	II 市産品 キーワード評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市産品の活用 <input type="checkbox"/> 1. 市産品を3品目以上5品目以下使用 <input type="checkbox"/> 2. 市産品を6品目以上使用					
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評 点： _____ 点  ・ 市産品とは、和歌山市市産品登録制度実施要綱に基づく和歌山市市産品登録制度に登録されているものをいう。 ・ 市産品は加点評価とする。 ・ 加点は+5点～0点の範囲とする。 ・ 創意工夫は、受注者から提案があった場合に評価を行うものとする。	【市産品の詳細評価】				
5 創意工夫 【軽微なもの】	III 材料調達 キーワード評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市内業者からの材料調達 <input type="checkbox"/> 1. 市内業者からの材料調達率80%以上					
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評 点： _____ 点  ・ 市内調達率が高い場合加点評価とする。 ・ 加点は+2.5点～0点の範囲とする。 ・ 受注者から提出のある工事材料承諾願を確認し、【市内業者から材料を調達した業者数】／【材料を調達したすべての業者数】で市内業者からの材料調達率を算出し、評価を行うものとする。	【材料調達の詳細評価】				